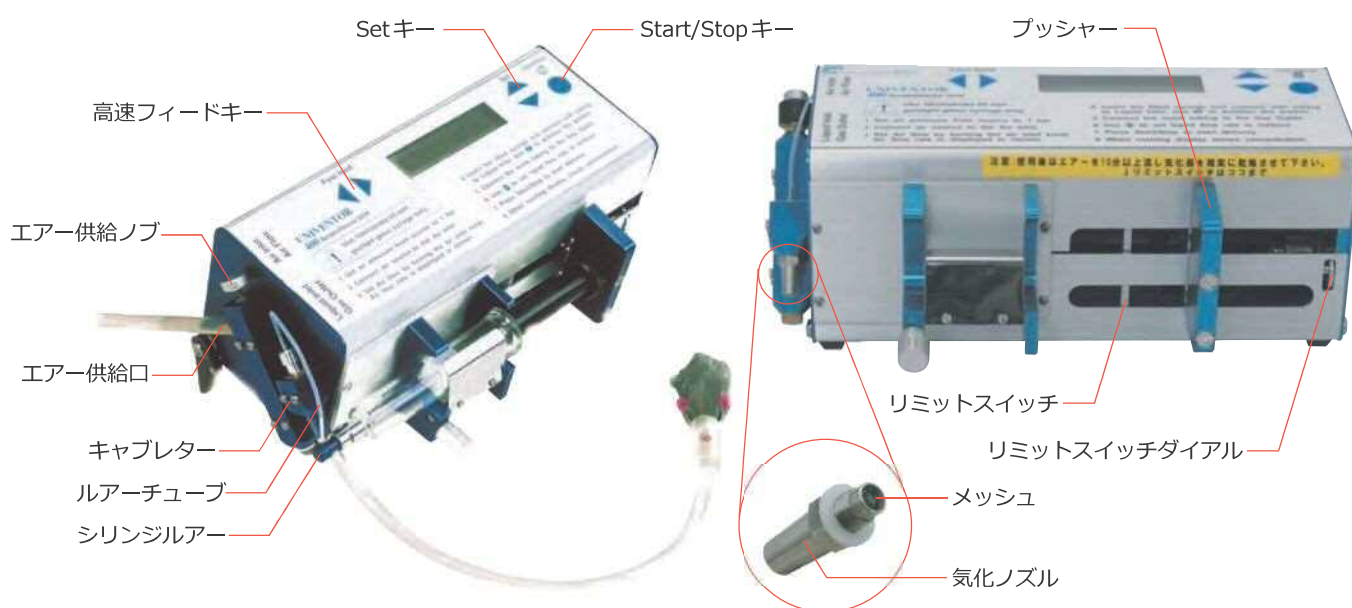


# 麻酔器の操作方法

**⚠ エアーの供給がないと動きませんのでご注意ください。**

1. 装置に電源をつなぎ、電源スイッチを入れます。
2. エアーソースをエアー供給口<Air Inlet> に接続して下さい。ガスボンベの場合は、エアーソースの圧力調整を 1 bar (約 1kg/cm<sup>2</sup>) に接続して下さい。
3. エアー供給ノブ<Air Inlet Knob> を回し、エアー流量を設定して下さい。  
(範囲：50mL～999mL)
  - ・マウス：約 100～200mL/min
  - ・ラット：約 400～800mL/min
4. シリンジに麻酔薬を充填させシリンジを固定して下さい。(気泡が入らないように注意して下さい。)
5. 高速フィードキーを使ってプッシャーを移動させ、シリンジを固定します。麻酔薬液がチューブ内からキャブレターにちょうど入る位置までプッシャーを前進させます。
6. シリンジ保護の為に、リミットスイッチダイヤルを回してリミットスイッチが所定の駆動停止位置になる様にセットします。(裏面参照)
7. PVCチューブの片方の端を麻酔ガス出口に差し込み、もう一方の端を麻酔ボックスや吸引マスクにつなぎます。チューブの長さはできるだけ短くします。
8. <Set> キーを押して麻酔ガスの混合比を設定します。停止中は麻酔薬液の流速を表示します。マウスではイソフルレンの混合濃度は、1.5%～2%が一般的です。
9. 麻酔処置している動物をモニターし、必要に応じて<Set> キーかエアー流量を調整して麻酔ガスの混合濃度を変更します。
10. 停止する時は<Start/Stop> キーを押して麻酔薬液の注入を停止しますが、エアーはそのまま 10分以上流してキャブレター内を乾燥させます。(裏面参照)



## バイオリサーチセンター株式会社

本社：〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目 28-24 ヨコタビル4F)  
東京：〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目 9-7 RECビル)  
大阪：〒532-0011 大阪市淀川区西中島六丁目 8-8 花原第8ビル)  
福岡：〒813-6591 福岡市東区多の津一丁目 14-1 FRCビル6F)  
製品開発課：〒168-0074 東京都杉並区上高井戸一丁目 8-20 第1島田ビル8F)

[www.brck.co.jp](http://www.brck.co.jp) [sales@brck.co.jp](mailto:sales@brck.co.jp)  
TEL (052)932-6421 FAX 052)932-6755  
TEL (03)3861-7021 FAX 03)3861-7022  
TEL (06)6305-2130 FAX 06)6305-2132  
TEL (092)626-7211 FAX 092)626-7315  
TEL (03)6379-7023 FAX 03)6379-7024





# 麻酔器を使用するにあたっての**注意点**



**注意 1**

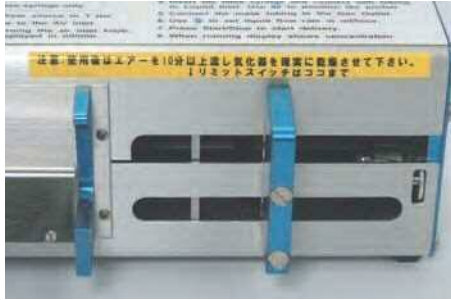
**麻酔液は使い回しをしないで下さい。**

麻酔液を使い回す事によって異物（外部から入った油分など）が混入し、麻酔ガスの量を検知するセンサーの故障の原因になります。



**注意 2**

**シリンジの破損を防ぐため麻酔器を使う前にリミットスイッチの位置を確認して下さい。**



リミットスイッチの限界点は写真の位置です。これ以上左に寄せるとシリンジの破損の原因になります。

リミットスイッチを  
左に寄せすぎると...



麻酔器の圧力で破損したシリンジ



**注意 3**

**麻酔器を使用した後は麻酔器を停止させ、シリンジをシリンジルアーから外してエアを10分以上流して下さい。**

これは麻酔液とエアが混合するキャプレーターの中をきれいにして、メッシュが錆びるのを防ぐためです。



このようにエアを流した状態で  
10分ほど置いておく



**注意 4**

**アラームが鳴った時はどうすればいいの？（アラーム表示とその解説）**

<b>Air 0</b>	エアが供給されていません。ポンプ、ポンベの接続を確認して下さい。
<b>Air Low</b>	エアが 50ml/min 以下になっています。エアの流量を増やして下さい。チューブが折れ曲がっていないか確認して下さい。
<b>Air High</b>	エアが 999ml/min を超えています。エアの流量を減らして下さい。
<b>Out of Range</b>	エアに対し麻酔薬の送り出し量が制限を超えています。エアの流量を調節して下さい。
<b>Max Mixture</b>	エア量に対し濃度が 5.0% を超えています。Set キーを押して麻酔薬の濃度を下げるか、エアの流量を増やして下さい。
<b>WARNINIG</b>	プッシャーがリミットスイッチに接触しています。高速フィードキーを押してプッシャーを戻して下さい。
<b>Slip Error</b>	シリンジの押し出しに負荷がかかっています。ルアーチューブの折れ曲がりや気化器にゴミが詰まっていないか確認して下さい。

## バイオリサーチセンター株式会社

本社：〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目 28-24 ヨコタビル4F)  
 東京：〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目 9-7 RECビル)  
 大阪：〒532-0011 大阪市淀川区西中島六丁目 8-8 花原第8ビル)  
 福岡：〒813-6591 福岡市東区多の津一丁目 14-1 FRCビル6F)  
 製品開発課：〒168-0074 東京都杉並区上高井戸一丁目 8-20 第1島田ビル8F)

[www.brck.co.jp](http://www.brck.co.jp)

TEL (052)932-6421  
 TEL (03)3861-7021  
 TEL (06)6305-2130  
 TEL (092)626-7211  
 TEL (03)6379-7023

[sales@brck.co.jp](mailto:sales@brck.co.jp)

FAX 052)932-6755  
 FAX 03)3861-7022  
 FAX 06)6305-2132  
 FAX 092)626-7315  
 FAX 03)6379-7024

